

文学国語

教科	国語	単位数	2	学科・学年	商業科・工業科2年生
使用教科書	「精選 文学国語」(三省堂)			副教材等	パスポート国語必携(桐原書店)

◇学習の到達目標◇

- ①近代以降のさまざまな文章を的確に読む能力を高めます。
- ②ものの見方、考え方を深め、進んで表現する態度を身に付けます。
- ③漢字学習を通して、漢字力の向上を目指します。

◇科目の特色◇

さまざまな文章を読んで論理の展開や要旨を読み取ったり、情景や心情、表現を味わったりします。そうした学習を通して視野を広げ、考察力を高めます。また、主体的に自分の考えを発表したり文章にまとめたりします。

◇学習の計画◇

月	単元名	主な学習活動
4 5 6	・小説の言葉 ・小説(一) (漢字検定対応確認テスト)	・筆者独自のものの見方・感じ方・考え方を読み取る。 ・物語の力について考える。 ・小説の寓意について考える。 ・漢字に対する理解や関心を高める。 【前期中間考査】
7 8 9	・評論 ・詩歌 (漢字検定対応確認テスト)	・文章の要旨を的確にとらえ、観点や考え方への理解を深める。 ・詩歌独特の表現や作者の感性を理解する。 【前期期末考査】
10 11 12	・翻案 ・小説(二) (漢字検定対応確認テスト)	・翻案小説に描かれた世界を読み味わい、独自の表現の魅力を知る。 ・非現実的な設定をもつ小説の魅力について考える。 【後期中間考査】
1 2 3	・戯曲の言葉 ・評論 ・小説(三) (漢字検定対応確認テスト)	・芝居のせりふと日常会話、戯曲の対話と小説の会話の違いを理解する。 ・論理的文章を読んで、批評について理解を深める。 ・小説の形式や表現の特色に留意して、登場人物の言動や心情を理解する。 【後期期末考査】

◇評価の観点・方法◇

評価は、次の三つの観点から行います。

知識・技能	語句の意味を理解し、語彙を豊かにすることができるか。 自分の考えをまとめ、筋道立てて文章を書くことができるか。 目的や相手に応じた適切な文章を書くことができるか。
思考・判断・表現	自分の考えをまとめ、目的や場面に応じ、筋道立てて話すことができるか。 話し手の意見や発表を的確に聞き取ることができるか。 自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じてさまざまな文章を的確に読み取ることができるか。
主体的に学習に取り組む態度	国語や言語文化に対する関心や理解を深めようとしているか。 国語を尊重して、その向上を図ろうとする意欲があるか。

◇担当者からのメッセージ◇

まずは名作に触れ、優れた表現を読み味わうことで、言語生活を豊かにし、視野を広げてください。

評価をするにあたり、以下を対象とします。

- ①授業で活用するプリント、定められた課題
- ②小テスト
- ③定期考査
- ④授業中における学習態度(発表や討論の様子、学習活動への参加状況など)

1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

地理総合

教科	地理歴史	単位数	2	学科・学年	工業科2年生
使用教科書	「高校生の地理総合」(帝国書院)			副教材等	「新編 フォトグラフィア地理図説」(とうほう) 「詳解現代地図最新版」(二宮書店)

◇学習の到達目標◇

多様性に富む現代に暮らす1人として世界各地の自然環境・地球的課題・身近な防災について学び、地理的な見方・考え方、地図に関する技能を見につけることで今後どのようにすべきか考えることができることを目指す。

◇科目の特色◇

世界各地の自然環境と、そこに根づく文化・産業を学ぶことで地理的な見方や考え方を身につけ、空間的・時間的に幅広い諸問題・課題への解決法について自分の考えをもつ。

◇学習の計画◇

月	単元名	主な学習活動
4 5 6	第1部 地図や地理情報システムと現代社会 1. 地図や地理情報システムと現代世界 2. 結びつきを深める現代社会	<ul style="list-style-type: none"> ・地球儀と地図を学び球体と平面の世界の違いを理解する。 ・地図と地理情報システムの利用について学び、グラフや統計系地図の作り方を理解する。 ・拡大する世界を交通・貿易・通信など、さまざまな視点から学びグローバルな社会の特質を探求するとともに課題について自分の意見を表現する。 <p style="text-align: right;">【前期中間考査】</p>
7 8 9	第2部 国際理解と国際協力 1. 生活文化の多様性と国際理解 事例1～10	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の人々の生活文化の多様性を、地形・気候から学び、国際理解を深める。 ・生活を支える農業・工業の発展を学び、世界の産業と人々の生活を考える。 <p style="text-align: right;">【前期期末考査】</p>
10 11 12	2. 地球的課題と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> ・人口問題、食料問題、感染症・衛生問題など地球規模で取り組むべき課題を理解し、どのような解決策があるか調べ、自分の考えをまとめる。 ・環境問題の今日的な問題点を理解しSDGsの目標をどのように達成するかを考える。 <p style="text-align: right;">【後期中間考査】</p>
1 2 3	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 1. 自然環境と防災 2. 生活圏の調査と地域の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の自然環境を学び、地震・津波・火山の噴火などの災害への対策や対応を実践的に考える。 ・身近な地域の変化を地図から読み取り、まとめることで自分の考えを表現する。 <p style="text-align: right;">【後期期末考査】</p>

◇評価の観点・方法◇

評価は、次の三つの観点から行います。

知識・技能	基礎的・基本的な語句や諸課題について理解した上で、自分自身の生活と結びつけてとらえることができるか。
思考・判断・表現	気候や産業に関するデータや資料を分析・多面的に考察し、状況や問題点を把握した上で、調べてまとめたことを適切に表現できるか。
主体的に学習に取り組む態度	自然災害や環境問題などの身近な問題からグローバルな課題まで幅広く関心をもち、意欲的に課題を追究する態度や客観的に考察しようとする姿勢を身に付けているか。

このため、具体的には次のものを対象とします。

- ①定期考査 ②授業で課される提出物の内容 ③長期休業に提示される主題学習(課題追究学習)のレポートや課題
④発表(プレゼンテーション、ディベートなど)の仕方や内容 ⑤学習活動の参加状況(授業中の態度・発言内容、作業への取り組みなど)

また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

◇担当者からのメッセージ◇

地理総合を学ぶことで、身近な地域から遠く離れた場所のグローバルな諸課題まで、多くのことに関心をもってほしいと思います。そして防災に関しては高い意識をもって実践的に学んでほしいです。

数学Ⅱ

教科	数学	単位数	3	学科・学年	工業科2年
使用教科書	「最新 数学Ⅱ」(数研出版)			副教材等	パラレルノート 数学Ⅱ

◇学習の到達目標◇

- ① 数の範囲を「複素数」まで拡張して「2次方程式」や「高次方程式」を解きます。
- ② 「三角関数」について考察し、関数の理解を深めます。
- ③ 「図形と方程式」について理解し、図形を数量的にとらえ、数学的に考察します。
- ④ 朝学習 R-time を通して基礎・基本の定着を図るとともに、計算力の向上を目指す。

◇科目の特色◇

「数学Ⅱ」は、事象を数学的に処理するための基礎を身に付ける科目です。「方程式・式と証明」、「指数関数と対数関数」、「図形と方程式」について基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し、処理する能力を身に付けます。

◇学習の計画◇

月	単元名	主な学習活動
4 5 6	3章 「三角関数」 1節 三角関数 2節 加法定理	<ul style="list-style-type: none"> ・一般角の意味を理解し、三角関数の値を求めることができる。 ・加法定理について理解し、応用ができる。 <p style="text-align: right;">【前期中間考査】</p>
7 8 9	4章 「指数関数と対数関数」 1節 指数関数 2節 対数関数	<ul style="list-style-type: none"> ・累乗根・指数法則を理解し、それらの計算を行う。 ・指数関数のグラフや性質を理解する。 ・対数の意味や性質を理解し、それらの計算を行う。 ・対数関数のグラフや性質を理解する。 <p style="text-align: right;">【前期期末考査】</p>
10 11 12	1章 「方程式・式と証明」 1節 式の計算 2節 複素数と方程式 3節 式と証明	<ul style="list-style-type: none"> ・2次方程式の解を発展的にとらえ、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解く。 ・高次方程式を解く。 <p style="text-align: right;">【後期中間考査】</p>
1 2 3	2章 「図形と方程式」 1節 点と直線	<ul style="list-style-type: none"> ・直線を表す方程式をたてられるように、また、平行や垂直 など2直線の関係を方程式で理解できるようにする。 <p style="text-align: right;">【後期期末考査】</p>

◇評価の観点・方法◇

評価は、次の三つの観点から行います。

知識・技能	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けているか。 事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題が解決できるか。
思考・判断・表現	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることができるか。
主体的に学習に取り組む態度	数学的活動を通して、数学の考え方に関心を持つとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしているか。

◇担当者からのメッセージ◇

2年生では抽象的な事象を扱うことも多くなりますが、内容的には決して難しいものではありません。一つ一つを確実に習得していきましょう。これらを通して、筋道を立てた考え方が身に付いていきます。

物理基礎

教科	理科	単位数	2	学科・学年	工業科2年生
使用教科書	新編 物理基礎 (数研出版)			副教材等	新課程版プログレス物理基礎 (第一学習社)

◇学習の到達目標◇

物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を高める。

朝学習 R-time を通して基礎学力の定着を図る。

◇科目の特色◇

「物理基礎」は、日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する科目です。

◇学習の計画◇

月	単元名	主な学習活動
4 5 6	第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方 第2章 運動の法則	<ul style="list-style-type: none"> ・速度が変化する物体の直線運動に関する実験などを行い、速度と時間との関係を見いだして理解するとともに、物体が直線運動する場合の加速度を理解する。 ・物体に一定の力を加え続けたときの運動に関する実験などを行い、物体の質量、物体に働く力、物体に生じる加速度の関係を見いだして表現するとともに、運動の三法則を理解する。 <p style="text-align: right;">【前期中間考査】</p>
7 8 9	第3章 仕事と力学的エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・運動エネルギーと位置エネルギーについて、仕事と関連付けて理解する。 ・力学的エネルギーに関する実験などを行い、力学的エネルギー保存の法則を仕事と関連付けて表現する。 <p style="text-align: right;">【前期期末考査】</p>
10 11 12	第2編 熱 第1章 熱とエネルギー 第3編 波 第1章 波の性質 第2章 音	<ul style="list-style-type: none"> ・熱と温度について、原子や分子の熱運動の観点から理解する。 ・熱に関する実験などを行い、熱の移動及び熱と仕事の変換について表現する。 ・波の性質について、直線状に伝わる場合を中心に理解する。 ・気柱の共鳴に関する実験などを行い、気柱の共鳴と音源の振動数を関連付けて理解する。また、弦の振動、音波の性質を理解する。 <p style="text-align: right;">【後期中間考査】</p>
1 2 3	第4編 電気 第1章 物質と電気抵抗 第2章 磁場と交流 第5編 物理学と社会 第1章 エネルギーの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・電気抵抗に関する実験などを行い、同じ物質からなる導体でも長さや断面積によって電気抵抗が異なることを見いだして理解する。また、物質によって抵抗率が異なることを理解する。 ・発電、送電及び電気の利用について、基本的な仕組みを理解する。 ・人類が利用可能な水力、化石燃料、原子力、太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用などについて、物理学的な観点から理解する。 <p style="text-align: right;">【後期期末考査】</p>

◇評価の観点・方法◇

評価は、次の三つの観点から行います。

知識・技能	物体の運動と様々なエネルギーに関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けているか。
思考・判断・表現	物体の運動と様々なエネルギーを対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈、法則性の導出の方法を習得するとともに、報告書を作成したり発表したりできるか。
主体的に学習に取り組む態度	物体の運動と様々なエネルギーに対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養っているか。

◇担当者からのメッセージ◇

「物理基礎」は基礎・基本を積み上げる科目です。毎回の授業を大切に、分からないことを次の授業に持ち越さないようにして頑張りましょう。

体育

教科	保健体育	単位数	2	学科・学年	工業科2年生
使用教科書	現代高等保健体育			副教材等	現代高等保健体育ノート

◇学習の到達目標◇

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

◇科目の特色◇

「体育」は、様々な運動を通して生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するために必要な資質や能力を育みます。

◇学習の計画◇

月	単元名	主な学習活動
4 5	体づくり運動 体操	<ul style="list-style-type: none"> ・ きびきびとした行動を習慣化し、学校生活に生かす。 ・ 集団の中の自分を意識することで、協力や責任などの態度を身に付ける。
5 6	陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内のコース（1周600m）を利用して個人の目標を立て、ペース走やタイムトライアルを実施する。
6 8	【選択】 バレーボール 硬式テニス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2種目から1つを選択し学習する。 ・ 基本技能を習得する。 ・ ゲームの中で、チームワークの大切さや楽しさを経験する。
9 10	ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育祭で発表する伝統の「エッサッサ」の練習を通して、体力を培い、集団の美と迫力を表現する。
10 11	【選択】 ソフトボール バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2種目から1つを選択し学習する。 ・ ゲームの中で、チームワークの大切さや楽しさを経験する。 ・ 基本技能を身に付け、ゲームでの勝利に貢献する。
11 3	サッカー 柔道	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2グループに分かれ、両単元を学習する。 ・ サッカーの集団的・個人的技能を身に付ける。 ・ 柔道の特性を理解し、基本姿勢や基本動作を身に付ける。 ・ 授業の自己課題を発見、解決していく中で仲間とともに工夫して練習やゲームを展開する。
	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間を通してスポーツにおける技能や体力、技術と戦術についてや、練習やトレーニング、安全の確保などについて学習する。

◇評価の観点・方法◇

評価は、次の三つの観点から行います。

知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けているか。
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するために課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えた個とを他者に伝える力を身に付けているか。
主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己に協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付けているか。

◇担当者からのメッセージ◇

体育の授業では、何事にも積極的に関わり、仲間との協調性を大切に、常に課題を見つけ、それを克服していく中で、新しい発見をしていって欲しいものです。その積み重ねが、運動技能や体力の向上にもつながり、「生涯スポーツ」に発展し、より「高次な楽しさ」を作り上げていくはずですよ。

保健

教科	保健体育	単位数	1	学科・学年	工業科2年生
使用教科書	現代高等保健体育			副教材等	現代高等保健体育ノート

◇学習の到達目標◇

- (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境作りを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

◇科目の特色◇

「保健」は、生涯を通じて自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を身に付けます。

◇学習の計画◇

月	単元名	主な学習活動		
4 5 6	3. 生涯を通じる健康 01 ライフステージと健康 02 思春期と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージと健康の関連や、社会からの支援について理解する。 ・思春期における男女別の体の変化や、心の発達にかかわって起こる問題について理解する。 ・性意識の男女差、性情報が行動選択に及ぼす影響について理解する。 ・妊娠・出産における健康課題、母子保健サービスについて理解する。 ・適切な避妊法や、人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について理解する。 		
	03 性意識と性行動の選択 04 妊娠・出産と健康 05 避妊法と人工妊娠中絶			
	7 8 9		06 結婚生活と健康 07 中高年期と健康 08 働くことと健康 09 労働災害と健康 10 健康的な職業生活	
	10 11 12		4. 健康を支える環境づくり 01 大気汚染と健康 02 水質汚濁、土壌汚染と健康 03 環境と健康にかかわる対策 04 ごみの処理と上下水道の整備 05 食品の安全性 06 食品衛生にかかわる活動	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の発達と結婚生活の関係について理解し、考察する。 ・加齢にともなう心身の変化と、社会的な取り組みについて理解する。 ・働くことの意義と健康の関わり、働く人の健康問題について理解する。 ・労働災害について理解し、その対策について考察する。 ・職場での健康に関する取り組みと、余暇をとることの意義を理解する。 【前期期末考査】
			07 保健サービスとその活用 08 医療サービスとその活用 09 医薬品の制度とその活用 10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加	
1 2 3		07 保健サービスとその活用 08 医療サービスとその活用 09 医薬品の制度とその活用 10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加		
10 11 12		4. 健康を支える環境づくり 01 大気汚染と健康 02 水質汚濁、土壌汚染と健康 03 環境と健康にかかわる対策 04 ごみの処理と上下水道の整備 05 食品の安全性 06 食品衛生にかかわる活動	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染の原因と健康への影響、地球規模の健康問題について理解する。 ・水質汚濁、土壌汚染の原因と健康影響について理解する。 ・環境汚染による健康被害を防ぎ方、産業廃棄物の処理について理解する。 ・ごみの処理の現状や、上下水道の仕組みと健康に関わる課題を理解する。 ・食品の安全性と健康との関わり、今日的課題について理解し考察する。 ・食品の安全性について、行政や製造者、個人の役割について理解する。 	
		07 保健サービスとその活用 08 医療サービスとその活用 09 医薬品の制度とその活用 10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加		
		1 2 3		
	10 11 12	4. 健康を支える環境づくり 01 大気汚染と健康 02 水質汚濁、土壌汚染と健康 03 環境と健康にかかわる対策 04 ごみの処理と上下水道の整備 05 食品の安全性 06 食品衛生にかかわる活動		<ul style="list-style-type: none"> ・保健行政の役割と、保健サービスの活用について理解する。 ・医療保険のしくみや、さまざまな医療機関の役割について理解する。 ・医薬品の正しい使用法や、安全性を守る取り組みについて理解する。 ・国際・民間機関などの保健活動や行政による社会的対策を理解する。 ・健康の保持増進のための環境づくりについて理解する。 【後期期末考査】
		07 保健サービスとその活用 08 医療サービスとその活用 09 医薬品の制度とその活用 10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加		
		1 2 3		

◇評価の観点・方法◇

評価は、次の三つの観点から行います。

知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けているか。
思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付けているか。
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他のけんこうのほじごうしんやそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が身に付いているか。

◇担当者からのメッセージ◇

学校生活が有意義に過ごせるよう“健康”という問題に対して理解し、得た知識を実践に生かして欲しいと思います。また、高校生活だけでなく、今後自分の将来に関わることを多く学ぶ時期でもあり、その学習の中から、考える力や実践する能力を養って下さい。それが“生きる力”に必ずつながっていきます。

英語コミュニケーションⅡ

教科	外国語	単位数	2	学科・学年	工業科2年生
使用教科書	VISTA English CommunicationⅡ（三省堂）			副教材等	VISTA English CommunicationⅡ ワークブック

◇学習の到達目標◇

英語で情報を理解し、英語で自分の考えを伝える能力を養い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。また、副教材などを通して知識・技能を身に付け、思考・判断・表現できる力を養う。

◇科目の特色◇

高校1年生時に学習した内容を踏まえ、英語の音声・語彙・表現等の理解を深め、英語で情報や考えの要点や話し手・書き手の意図を的確に理解する力を身に付ける。また、そこから得た情報に関して、自分の考えをまとめ、英語で表現できる練習をする。

◇学習の計画◇

月	単元名	主な学習活動
4 5 6	Lesson 1 World Dance Performances	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の各地域の伝統舞踊についての理解を深める。 ・to+動詞の原形の不定詞を理解し、考えを伝えられるようにする。 <p style="text-align: right;">【前期中間考査】</p>
7 8 9	Lesson 2 A Piece of Cake	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の慣用句の理解を深め、伝えたいことを表現できるようにする。 ・what 等の疑問詞節、if 節を理解し、考えを伝えられるようにする。 <p style="text-align: right;">【前期期末考査】</p>
10 11 12	Lesson 3 Quokka	<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアに生息する動物クオッカについて学び、生態系についての理解を深める。 ・let 等の使役動詞、see 等の知覚動詞を理解し、考えを伝えられるようにする。 <p style="text-align: right;">【後期中間考査】</p>
1 2 3	Lesson 4 Designing Stamps	<ul style="list-style-type: none"> ・切手デザイナーという職業について学び、作品に込められた想いを理解する。 ・形式主語や形式目的語の it を理解し、考えを伝えられるようにする。 <p style="text-align: right;">【後期期末考査】</p>

◇評価の観点・方法◇

評価は、次の三つの観点から行います。

知識・技能	本文の概要を把握し、記載されている語彙や文法を習得しているか。
思考・判断・表現	本文の内容について、自分の意見を持ち、その意見を表現しているか。
主体的に学習に取り組む態度	内容把握、語彙・文法の習得、意見発表等の活動に積極的に参加しているか。

具体的には、次の項目を評価の対象とします。

- ① 授業内での活動 ② 定期考査 ③ パフォーマンステスト ④ ノート・ワークブック・授業プリント
⑤ 長期休業中の課題と課題テスト

1年間の評定は、年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

◇担当者からのメッセージ◇

英語上達のカギは、失敗を恐れずに、自分でやってみることです。たとえやってみたことが間違いであったとしても、気にしないでください。主体となって活動に取り組んでいるうちに、着実に英語ができるようになっていきます。英語を聞いたり、読んだり、話してみたり、様々な活動を通して実社会で活用できる英語力を身に付けましょう。

家庭基礎

教科	家庭	単位数	2	学科・学年	工業科2年生 総合ビジネス科2年生
使用教科書	「家庭基礎 気づく力 築く未来」 (実教出版)			副教材等	「生活ハンドブック」(第一学習社)

◇学習の到達目標◇

家族や生活の営みを人の一生とのかかわりのなかでとらえ、家族や家庭生活のあり方、子どもや高齢者の生活と福祉、生活の自立と健康のための衣食住、消費生活と環境などに関する基礎的・基本的な知識や技術など体験を通して身に付けます。自分自身の生活を見直し、各自が生活課題を主体的に解決するとともに、男女が協力して家庭や地域の生活の充実向上を図ることができるよう能力と実践的な態度を育てます。

◇科目の特色◇

「家庭基礎」は家庭生活に関わる基礎的・基本的な知識や技術を習得する科目です。体験的な学習を通して学ぶことにより日常生活の場で活かす力を身に付けます。

◇学習の計画◇

月	単元名	主な学習活動
4 5 6	第1章 これからの一生について考えてみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしい生き方について考える。 ・自己実現の準備として、現在の自分にできることを考える。 ・ワークライフバランスの実現について考える。 ・食物にかかわる実験や調理実習を通して、栄養・食品及び調理や食品衛生などに関する基礎的知識と技術を習得する。 ・自分の食生活を振り返り、改善点について考える。 【前期中間考査】
	第2章 自分らしい生き方と家族	
	第6章 食生活をつくる	
7 8 9	ホームプロジェクト(夏季休業)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームプロジェクトでは、各自の生活の中から課題を見いだし、課題解決を目指して実践をする。 ・契約の重要性を学ぶ。 ・将来のライフプランニングから、リスク管理と資産形成の重要性について考える。 ・衣服管理に必要な知識を理解する。 ・被服実習により、基礎的な縫製技術を学ぶ。 【前期期末考査】
	第9章 消費行動を考える	
	第10章 経済的に自立する	
10 11 12	第7章 衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習を通して、調理の基礎的技術を身につける。 ・体験学習やVTRの視聴を通して、家族や家庭生活のあり方や乳幼児期の生活と福祉について理解する。 【後期中間考査】
	第6章 食生活をつくる	
1 2 3	第3章 子どもとかわる	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者を支える福祉・サービスを調べ家庭と地域の関わりについて考える。 ・自分たちが取り組める防災・減災について考える。 【後期期末考査】
	第4章 高齢者とかわる	
	第5章 社会とかわる	
	第8章 住生活をつくる	

◇評価の観点・方法◇

評価は、次の三つの観点から行います。

知識・技術	各項目に関する基礎的な知識を習得することができたか。 実習・実技での製作物等の完成状況。
思考・判断・表現	家庭や地域の生活を見直し、課題を見つけ、その解決を目指してより良い方法を考えることができるか。
主体的に学習に取り組む態度	家庭や地域の生活に関心を持ち、自分事として捉え、授業に臨む姿勢があるか。 学習で得た知識と技術を生活の中で活用する姿勢があるか。

このため、具体的には次のものを対象とします。

- | | |
|----------------|----------------------|
| ①授業で活用するプリント | ②学習の成果をまとめたプリントやレポート |
| ③製作物及び実習・実技の状況 | ④ホームプロジェクトへの取り組み状況 |
| ⑤自己評価表 | ⑥定期考査 |

また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判定して決定します。

◇担当者からのメッセージ◇

家庭基礎の学習は、あなたの日々の生活の充実を図るとともに、将来の生活への希望を実現するための大きな力になります。より良い生活を目指して頑張りましょう。

